

恩師、安積桑野七十五期、主な同窓生へ発行部数三二〇部、老後の生き方を真剣に問いかける豆新聞。⑧II数字は卒業期

# 安七五期

葉書からの同級会

<p>▼利益増に困窮する昨今、銀行の支店長から『社長のセールスポイントは何ですか』『友達が多いことかなあ』『ならばそこにセールス攻勢をかけて下さい』ということ。今回は葉書でなく、広告の裏紙を使う。広告デザインは<b>嶋原幸男</b>の妻啓子である。そんな訳でえっ、ご利用▼創立75年の年私達は安高に入学した。時の校長は<b>津口信男</b>、教頭は<b>富田重延</b>で、津口が生徒を放任、富田が生徒にガミガミ言う役と分担をしていたので津口は生徒から圧倒的人</p>	<p>気が有った。▼私は高校時代、物理部部长と山岳部と演劇部手伝いをしていた。▼高校入学時、山岳部は無かった。昔の山岳部のマセた生徒が山から下つてきて温泉で芸者を上げて遊び解散させられたと聞いた。高二になって<b>星彰夫</b>顧問に<b>渡辺忠</b>・故人を頭に山岳同好会を結成した。星の顧問就任には条件があった。人数が足りない、バスケット部の練習相手になる事。<b>神山靖範</b>はその二股部員である。▼桑野山岳会、先輩達の<b>佐藤雄寿</b>、<b>大橋重夫</b>、<b>鈴木壮平</b>、<b>吉見真男</b>等に面倒を見て頂いた。その後の沢登り岩登りの技術は吉見の伝授である。▼二年で初めて高体</p>	<p>連参加。引率教師<b>山川進一</b>。リーダー<b>田代忠</b>、<b>梅津伸一</b>、<b>佐々木寛侖</b>、<b>染谷安彦</b>、そして<b>私</b>。田代は全国大会に出場した。▼クラブの部長には卒業時に功労賞が渡されるが物理部顧問<b>渡辺久茂</b>(デンナマ)は各部掛持ちの私に嫌気がさした副部長の<b>根本宏一</b>に功労賞を推したが、私も当然と思っていた。部員に<b>渡辺善信</b>、<b>梅津(安田)収二郎</b>が居た。無線機やホバークラフトを製作した。学校は楽しく、ほとんど勉強はしないで大学受験を迎えた。▼そんな勉強をしないで遊びほうけた生徒の為に校長津口は補修科と称し、浪人組の四年生クラスを設けた。クラス担任は<b>竹花</b></p>	<p><b>栄明</b>(ドライ)。教室は旧本館一番東の北側、当時物置だった。私はその教室の整備に片付けから手伝った。生徒は五十人。須賀川高、田村高女子も居た。運動の時間も有り<b>星彰夫</b>体肓担任の元、火曜日の午後はテニスをした。▼十八才を過ぎ治外法権、その教室は紫煙が立ち込めていた。ある日校長津口が浪人教室にやって来た。『キミタチイ、煙草を吸うなど言わないが、在校生の手前、校長室にバケツを置くからそこで吸ってくれないか』喫煙癖のついた者は馬鹿正直に、校長室に行つて入口の衝立の陰でタバコを吸った▼津口は生徒ひとり一人面接をし、年賀状も出した。</p>
--	--	--	--

無責任編集 敬称略御容赦 郡山市熱海町熱海四の三九 村田英男 連絡はFAX0249-84-2131 deo@kirakuya.jp に変えた